

私たちのスローガン

自他共栄

Mutual Welfare and benefit.

～今しかできない仲間づくり～

飛翔

第30号 平成30年3月31日

編集 茨城県商工会青年部連合会

発刊 茨城県商工会連合会

水戸市桜川2-2-35

TEL 029-224-2635

責任者 根本暁生 青年部員数2029人

今大会では茨城県の活躍ぶりが目覚ましく、茨城を深く印象づける大会となった。

まず式典の花形である商工会青年部宣言・誓いの言葉を当県青連の根本暁生会長が3千人の聴衆を前に完璧な暗誦にて披露した(当県青連の理事会では宣言と誓いの言葉を理事が暗誦する取組を徹底して行っている)。

そして大会顕彰では、まちづくり部門で東海村商工会青年部(佐藤高雅部長)が表彰され、感謝状部門では行方市商工会青年部の根本高明君が表彰された。



大会顕彰・まちづくり部門 (写真中央 佐藤部長)



部員増強で3冠を達成!

平成29年11月21日・22日の2日間、沖縄県立武道館で商工会青年部全国大会が開催され、全国から約3千名の参加者が会場に集結し、式典・主張発表大会・基調講演が行われた。

さらに部員増強表彰では茨城県が3冠を達成した。

部員増加実績1位(153名)
新規加入実績1位(177名)
部員増加比率1位(108%)

続いて、鹿嶋市商工会青年部が3部門で受賞した。

部員数増加実績3位(24名)
新規加入実績3位(24名)
若手部員加入実績3位(5名)

主張発表大会では全国各ブロック代表が大会に臨み、最優秀賞は鹿児島県始良市商工会青年部の古郡豪人君が受賞。基調講演では「ロック界最強のマイペース」上江洲清作氏(MONGOL800)の音楽人生を楽しく拝聴した。

初日の夜には大懇親会が開催され、琉球舞踊・エイサー・上江洲氏ミニコンサートで沖縄の風情を堪能した。

2日目には部員企業とのPRを行う商人ネットワークと全国商工会青年部長会議が行われ、全青連執行部からの報告と質疑応答が行われた。

フィナーレでは来年の開催地となる広島に大会旗が引継がれ、再会を誓い、大団円となった。

常磐線の各駅前では、冬の名物として街頭イルミネーションがきらびやかに装飾され、カップルや通勤者等の憩いの場として賑わっています。

そんな様子を見て、地元JR東海駅前にもイルミネーションによる地域活性化を望む声があがり、当商工会青年部が新事業として、地域への愛着につながる駅前の賑わい創出計画を策定しました。

そして東海村に計画が採択され、平成27年度より3年間の事業補助を受けて駅前イルミネーションが実現しました。

今後は青年部だけでなく、事業への参加を地域に広く呼び掛け、東海村民が皆で協力して創り上げる体制を整備し、事業継続とイルミネーション設置エリアの拡大を図り、更なる地域活性化を目指します。

そして将来、近隣地域の皆様が集まる冬のシンボルにしたいと考えています。



村長や村内の子供たちを招いての点灯式や、短冊に自分の夢を書いてイルミネーションのトンネルをくぐると夢が叶うなどのイベントは大好評でした。

東海村商工会青年部 部長 佐藤高雅

全国大会顕彰を受賞
まち(地域)づくり部門

我々鹿嶋市商工会青年部は『自己を磨き地域の役に立つ』という理念があります。

個々ではできないものを、商工会という団体として活動する事により、自身の成長を促し、地域の為に役立つことが出来ると思っております。

その理念を掲げ、活動する事により、地域の方々、後継者にとつて魅力ある団体を目指しています。

商工会に入部する事で、年代を越えて夢や目標を語ったり、苦楽を共に共感しあえる仲間に出会える事もメリットの一つではないでしょうか?

一人はみんなのために、みんなは一人のために。みんなが仲間を大切にし、支え合い『そして自分自身が楽しむこと』ここが一番大事!!

楽しい雰囲気のある場所には自然と人が集まって来ますよ! そんな魅力ある商工会青年部作りを行っています。



部員増強のコツは、自分自身が楽しむこと。

『楽しい所に人は集まる!!』

鹿嶋市商工会青年部 部長 小澤潤

全国3位
全国大会部員増強表彰
部員増加・新規加入・若手部員加入実績

茨城県商工会青年部連合会 創立50周年記念式典

創立50周年を迎えて

県内外から
300余名が参加



茨城県商工会青年部連合会
会長 根本 暁生

茨城県商工会青年部連合会
は、昭和43年3月の結成以来、
今年で50年という大きな節目
を迎えることができました。

これもひとえに様々な形で
私どもを支えてくださった行
政機関や諸関係団体のご指導、
そして歴代県青連会長をはじめ、
各商工会青年部長、青年
部員のご奮闘の賜物でござい
ます。心より深く感謝申し上
げます。

半世紀に及ぶ足跡を辿った
とき、「地域振興と社会一般
の福祉の増進」という今と変
わらない一貫した基本方針に
大変感銘を受けました。

また、地域経済の繁栄と地
域住民の幸福に寄与するため、
県内青年部と連携し、経済人
としての自己啓発研修会や交
流会を重ね、地域を超えた仲
間意識の醸成も伺えました。

そして徐々に拡大していっ
た地域振興イベント、地域特
産品開発事業など多岐に渡る

事業展開と経験の結晶は、各
商工会から輩出された多くの
先輩方が、地域又は業界のリ
ーダーとして県内産業の発展
に大きく貢献される姿として
各地に見ることが出来ます。

これは私達が誠に誇りとす
るところであり、敬意を表す
次第であります。

我々は、その名の如く商工
青年の同志会であり、自社の
存在こそが原則であります。

時代と共に変化する経済の
渦中で自社を存続発展させる
ためには、若者らしい柔軟な
発想とエネルギーな行動
力が必要であり、積極果敢な
挑戦こそが自らを進化させ、
事を成し遂げると確信してお
ります。商工青年として夢や
希望を共有する同志の輪を広
げ、洋々たる未来を共に切り
拓いて参ります。

そして、青年部員一人ひと
りが光り輝き、自信に満ち、
笑顔あふれ、地域を愛する、
そんな商工会青年部の姿に思
いを馳せ、次の10年20年に向
けて県青連のタスキをしっか
り繋げられるよう、鋭意努力
して参る所存であります。

今後とも、ご支援ご協力を
賜われますよう心よりお願い
申し上げます。

歴代会長座談会&青年部員へアドバイス



各歴代会長から現役青年部員にメッセージが贈られた。

山本主税氏(22代会長)の
司会により歴代会長座談会を
開催。参加者は益子慎哉氏

(14代)、中山忠男氏(17代)、
亀山彰氏(18代)、平田祐司
氏(19代)、鄭豊之氏(21代)、
栗山秀樹氏(23代)。

歴代会長の体験を基に青年
部時代の苦労話・思い出話を
披露して頂いた。

主張発表、国政、近年の自
然災害、災害支援経験に基づ
いた新たな取組と今後の展開
に等ついて語って頂いた。
事業承継、青年部活動の意
義、経営者の姿勢など、先輩
の言葉には重みと、青年部の
歴史の厚みがあった。

青年部員に求めること

益子氏…できない理由ではな
く、できる理由を考え、前向
きに物事に取組んでほしい。
青年部員はぜひ地域自治体の

議員になってほしい。

中山氏…青年部と商売を分け
ずにライフワークの一つとし
て青年部活動をしてほしい。
そこでの仲間との出会いが
一番今の自分を支えている。

亀山氏…全国壮青年部と商工
同友会はビジネスと政策提言
に特化した団体。青年部で人
脈を作りぜひ加入してほしい。
青年部の基本理念は青年部
宣言に集約されている。組織

・機関として決まったことは
最後までしっかりとやる、仲間
で決めた約束は守る、を心が
けて楽しんで続けてほしい。

平田氏…後継者は一日でも早
く経営者へ、経営者は真の経
営者へ。ある日突然、後継者
は経営者になることがある。
自分の中の年表を作り、そ
こを目指して毎日を過ごして
ほしい。10年はあつという間
目標をしっかりと立て、実行し
て頂きたい。

鄭氏…青年部ネットワークと
今しか出来ない仲間づくりが
素晴らしい。年間事業を仲間
でマネジメントし個人・団体
の有益性を深めてほしい。

栗山氏…今しか出来ない仲間
づくりは歴代スローガンとし
て引き継がれている。青年部
の定年は45歳。時間は有限で
す。先輩の大きな流れを汲ん
で繋いでいってほしい。

山本氏…いつも今より一歩前
へ出て、視野を広げ、商売・
青年部を見通してください。

記念式典

当日は県内外から集まった
300余名の参加者のもと、盛大
に開催することができた。

歴代会長をはじめ、青年部
の先輩方・部長経験者・そし
て現役部員が集う会場内は、
同窓会のような懐かしさと和
やかな雰囲気にもまれていた。
式典冒頭、スクリーンに県
内全青年部の映像が流れた後、
会長から式辞が述べられた。



主催者を代表し、300余名の参加者を前に式辞を述べた根本会長。青年部の先輩方及び現役を青年部員に対し、「50年の歴史」と「たすき」を引き継ぎ受け継いでいく覚悟を表明した。



大井川和彦県知事から「想いは青年部に近い！」

続いて、来賓の大井川和彦
県知事、梶山弘志地方創生担
当大臣(※代読)、外山崇行
県商工会連合会長、越智俊之
全国商工会青年部連合会長より
櫻井姚県女性部連合会長より
祝辞を賜った。

【感謝状贈呈】

青年部の歴史を半世紀に亘り紡ぎ続けてこられた歴代県青連会長23名に対し感謝状が贈呈された。歴代会長代表として根本正人氏(第9代会長・現県青連会長の父)が謝辞を述べた。

そして前回の45周年以降青年部活動を繋いできた歴代青年部長経験者124名に対する感謝状贈呈が行われ、常総市の第18代部長・稲石高志氏が代表して謝辞を述べた。



常総市 第18代部長 稲石高志氏「被災者の一人として、県青連と各地区青年部の仲間から受けたご支援を感謝し、青年部に所属し巡り合えた仲間との活動と経験は誇りです」と述べた。



第9代会長 根本正人氏「青年部宣言に謳われる精神を忘れず、希望溢れる未来に向けてもう少し、一役買っていきたい」と述べた。

景品：県内6ブロック名産品	
県北	焼きうまい米 / 新酒 純米吟醸 奥久慈こんにゃくセット 舟納豆ギフト / 五浦最中 冬限定 ティーパック ひまわりオイル / 干しいも
中央	栗焼酎 / 小美玉ヨーグルト きのこセット / しじみカレー 日本酒 月ノ井 / 菓子詰合せ 米粉麵 穂々の空
鹿行	こだわり焼酎セット / 干し芋 和菓子 / 佃煮 / お煎餅
新筑	滝田蕎麦セット / 佃煮セット
県南	河内素敵あられ / あま酒 / 鹿肉シチュー&安中いちご サイダー / 江戸崎まんじゅう 奈良漬
県西	ねじれもなか / さしま茶 さしみこんにゃく / 純米酒 手作り味噌 / ジャム / お煎餅 バームクーヘン / 肉ちりめん



受付で集められた名刺を抽選券にし、賑やかな会場内で10コール以内に電話に出る事ができた参加者に各ブロックの名産品が贈呈された。

ドキドキ携帯ゲーム

記念パーティーのアトラクションでは、各ブロックから集められた地域物産が景品となる「ドキドキ携帯ゲーム」と「大腕相撲大会50周年場所」が盛大に開催された。



県内各ブロック代表、関東ブロック代表、同友会代表の総勢8名による筋肉リアルバトル。優勝は中央ブロック代表 野口祐司氏。(写真右)

大腕相撲大会50周年場所

アトラクション



記念パーティーでは野澤勝男専務理事、田熊祐介関東ブロック青年部連絡協議会長、県内友好青年団体から田中義法県商工会議所青年部連合会長、杉崎和彦(一社)県経営者協会青年経営研究会会長、荒井隆一県中小企業青年中央会長より祝辞を賜わった。乾杯の発声は、第18代会長そして全国壮青年部連合会長である亀山彰氏が務め、全員の健康と発展を祈念した。

記念パーティー

50周年事業を振り返る



実行委員長 飯島寿博

今回の県商工会青年部連合会創立50周年事業の実施にあたりましては、県商工会連合会外山会長をはじめ、県内全43商工会青年部の皆様より多大なる御協力をいただきました。実行委員会を代表し、心より御礼申し上げます。

私達は、この記念式典の企画立案時より、50年という長きに亘る歴史を紡いでくださった先輩方へ、真つ直ぐに感謝の心をお伝えすること、そして、変化を恐れず挑戦してゆく県商工会青年部の未来への決意を、県内すべての青年部員の皆様と共有し、50年の節目としてふさわしい事業を作り上げることが念頭に準備に取り組んで参りました。そして、過去半世紀の歴史と今を綴った創立50周年記念誌の刊行、県青連歴代会長の皆様の想いを今の世代にも伝えることができた座談会(部員研修会)、記念式典における感謝状の贈呈、記念パーティーでの世代間、地域間を超

えた交流等により、県青連の縦と横の絆をより強固にできた実感しております。『かけがえのない人たちとかけがえのない地域の為に』『自他共栄』今しかできない仲間づくりの実践と、50年に一度しかない大事業に携われたことは人生の中でも貴重かつ幸せな時間でした。本当にありがとうございました。

経営改善普及事業に関する功労者などの表彰
昨年開催された商工会全国大会において、以下の青年部関係者が表彰されました。
中小企業長官表彰
優良青年部
東海村商工会青年部
青年部功者
栗山秀樹(美浦村商工会青年部)
青年部功者
三橋真人(城里町商工会青年部)
田上隆生(銚田市商工会青年部)

- 《広報・情報ネット戦略委員会》
- 委員長 飯島寿博 (銚田市)
 - 副委員長 高橋雅慶 (水戸市常澄)
 - 委員 佐藤高雅 (東海村)
 - 小田島望 (つくばみらい市)
 - 清原精一 (龍ヶ崎市)
 - 堀 和友 (坂東市)

第34回県青連ゴルフ大会

平成29年10月25日、猿島カントリークラブにおいて、第34回県青連ゴルフ大会が県西ブロック（伊藤光広ブロック長）の運営により開催された。当日は雨模様であったが、各ブロックの代表選手と県青連役員が参加し、福島県青連河治会長を来賓に迎えた総勢70名の青年部員達は競技と親睦を深めた。

【試合結果】

○団体の部

優勝…鹿行ブロック

準優勝…中央ブロック

3位…県西ブロック

○個人の部

優勝…小岩井亮輔（鹿嶋市）

準優勝…山中将次（水戸市内原）

3位…森川道成（小美玉市）



団体&個人優勝の鹿行ブロック。おめでとう！

試合後の懇親会では、表彰式が行われた他、参加者全員に県西ブロックの物産品が土産として配布された。

第7回ジュニアサッカー大会 カシマサッカースタジアム

平成29年12月1日、県立カシマサッカースタジアムにて、第7回ジュニアサッカー大会が開催された。また、同日開催された鹿島対磐田戦のバブルックビューイングの視聴に訪れた一般客の来場も重なり、県青連活動を一般周知する良い機会となった。



優勝：アイデンティみらい（つくばみらい市）



特別な場所、サッカーの聖地でのプレーを思い切り楽しんでもらえたと思います

ジュニアサッカー大会も7回目を迎え、県青連事業として定着しつつある中、今回の開催にあたってはもう一度初心にかえり、サッカーの聖地・カシマサッカースタジアムで本事業を開催する意義を見つめ直し、関係者全員で特別な取組であることを改めて再確認することから始まった。大会当日は天候に恵まれ、暖かな日差しのもと、県内6ブロックから全12チームと大勢の親御さんが、早朝から会場に続々と集まった。

開会式では、主催者を代表し久保田洋平実行委員長（水戸市内原）と来賓の参議院議員・全青連顧問であり大会顧問の宮本周司氏、県中小企業課長の滝陸美氏、県連専務理事野澤勝氏が子供達を激励した。

【試合結果】

優勝…アイデンティみらい（つくばみらい市）

準優勝…潮来市FCグレー（潮来市）

3位…八原サッカースポーツ少年団（龍ヶ崎市）

MVP…安達明希斗（アイデンティみらい）

大会運営には総勢100名もの実行委員とチームアシスタントが携わり、大会開催中の会場の警備・設営・進行・施設整備等、各担当者が来場者の誘導や試合進行にあたった。また、当日は同会場場でバブルックビューイングの大観衆が見守る中での開催となり、キッズ選手達もプロ選手が見ている風景と、本物の感触を楽しんでもらえたと思う。

関東ブロック商工会青年連絡協議会

後期大会（長野大会）

平成30年2月21日・22日、長野市のホテルで、関東ブロック商工会連絡協議会后期大会（長野大会）が開催された。参加者約450名の内、当県からは27名が参加した。



「夢を持てば人は輝く～夢は必ずかなう」
（糊てっぺん 代表取締役 大嶋啓介氏）

会ならではの異業種交流&名刺交換会となった。二日目は、最近多くの青年部で好評を博しているゲーム型研修「インパルスゲート」が開催された。青年部の事業計画の際、非協力的な部員を説得するための思考の瞬発力の強化とコミュニケーションの取り方を学んだ。そして各県混成グループで交わされた他県部員との意見交換は非常に有意義であった。

関東ブロック野球大会

平成29年10月30日、群馬県前橋市の敷島球場にて、関東ブロック野球大会が開催された。各県代表全11チームが参加し、茨城県代表として大洗町商工会青年部が参加した。今大会では、大会前日に現地入りしチームによる親睦会を開催し、翌日の健闘をお互いに讃え合った。

また、新たな試みとして、初戦敗退を喫したチーム同士による親睦試合を行ったところ、両チームから「試合を楽しめた」と好評を得た。

【試合結果】

優勝…旭市商工会青年部／千葉

準優勝…氏家商工会青年部／栃木

3位…沼田市東部商工会青年部／群馬県

3位…群馬伊勢崎商工会青年部／群馬県